

1 第124号

日経平均株価

2万1567円52銭

▼77円90銭(前日比)

TOPIX

1719.30

▼5.31(前日比)

2018

4/9

月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



相次ぐ値上げの影響は？

バーコード決済など新たな取り組みも



相次ぐ値上げは家計を直撃する？

「牛めし」の一部メニューで10%以上値上げを続けた。並盛の「牛めし」は、外食では松屋（9887）が「牛めし」の一部メニューで10%以上値上げを続けた。並盛の「牛めし」は、外食では松屋（9887）が「牛めし」の一部メニューで10%以上値上げを続けた。

大手各社（た）は樽入り業務用や瓶入り業務用を続々と値上げし、飲食店が販売価格に転嫁すれば、顧客に影響

4月に入って食料品や飲料が相次ぎ値上げされた。原材料の高騰や人手不足や燃料費上昇による物流費負担増によるもので、身近なところでは納豆やヨーグルトがその代表格。明治ホールディングス

（22269）傘下の明治は「ブルガリアヨーグルト」2品目で100グラム当たりの価格を引き上げたが、容量を減らしたうえで価格を下げたり、買いやすい価格を維持することで販売減を防ぐ取り組みを行っている。

で290円から320円に引き上げられたが、同業他社が350円以上の価格であることを考慮すれば、値頃感を維持しており、影響は少ないと見られている。

収益拡大の鍵は付加価値化

新年度入りの4月とともに食料品の値上げや新たなサービスの開始など日々の暮らしで様々なものに変化が訪れる。深刻な人手不足や燃料費の上昇などでコストが増加するか、企業側は利益を確保すべく製品やサービスの価格に転嫁する動きを強めているが、それと同時に顧客の利便性を高めることで、新たな需要を創出する期待もある。製品価格の上昇は顧客の節約を促すデメリットもあるだけに、いかに付加価値をつけるかが収益拡大を目指すうえで重要なポイントになりそうだ。

がでるかもしれない。その半面、酒税法の改正で4月からビールの定義が変更、柑橘類など副原料の比率引き上げが可能になり、アサヒグループホールディングス（2502）は新製品「グランマイルド」の投入で攻勢をかける。

新たなサービスではNTTドコモ（9437）がバーコードや二次元コードを活用した決済サービスを始めており、国内の決済手段が大きく変わるきっかけになりそうだ。

日経平均日足チャート

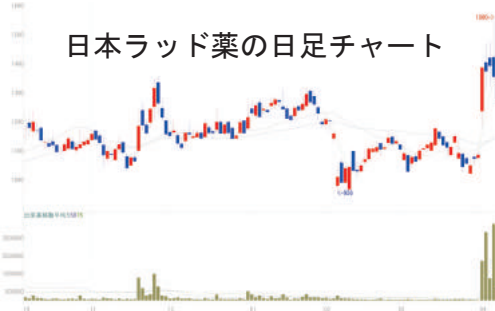


今週の動意銘柄

日本ラッドが急騰

台湾アドバンテック社と提携

週明け2日、日本ラッド(4736)が急伸。前週末取引終了後、台湾のアドバンテック社と資本・業務提携すると発表されたことが買い手がかりになった。アドバンテックが提供するプラットフォームや製品、同社のインテグレーションに組みこんだソリューションを提供。アドバンテックのプラ



日本ラッド薬の日足チャート

ットフォームに関連する技術支援やサポートを行う拠点としてコンピテンシーセンターを運用する方針で、早期期収益

が急騰、最高値を更新した。同社は3月30日の取引終了後、オランダのVekoma Rides BVを子会社化する

JDI増資と子会社化中止

200億円を調達する計画。JOLEDについては、一定の資本関係は保ちなが

らビジネス関係を更に強化する。公開価格の2.9倍日本リビングの初値

大村紙業ストップ高 2日、大村紙業(3953)がストップ高。任天堂(7974)が「Nintendo Switch」と

正直いいさんの株で大判小判

6日の東京市場は上値の重い展開でした。トランプ大統領による1000億ドル規模の対中追加関税が報じられたことで時間外のダウ先物指数が下落した影響を受

SQ週で荒れれば攻めろ!

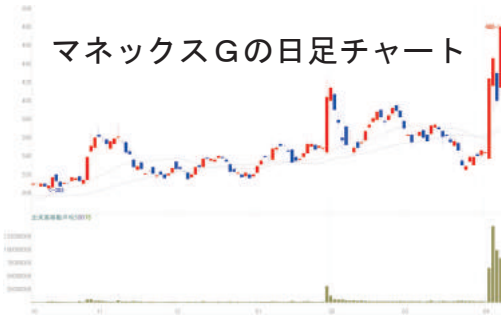
注目銘柄でヤクルト(2267)が順調に下値を切り上げて



ヨシムラフード利益減額

3日、ヨシムラ・フード・ホールディングス(2884)が急落。18年2月期の連結業績予想の修正を発表、売上高を196億8700万円から200億3500万円(前期比

マネックスGの日足チャート



マネックスが支援先を募り、子会社化する買収案を提示したことが分かった」と伝わった。コインチェックの議決権の過半を握り、経営陣も派遣する。買収額は数十億円になる見込み

マネックスはS高

コインチェック買収を検討

3日、マネックスグループ（8698）が「巨額」の仮想通貨流出事件を起したコインチェック

3日、ルネサスエレクトロニクス（6723）が一段安、6日ぶりに年初来安値を更新した。「経営の再建を支援してきた産業革新機構が保有株の一部を売却する方針を固めた」と伝わったことで値下がりリスクを回避する売りが膨らんだ。産業革新機構は同株の45・6%を保有しているが、12%を近くを市場を通じて

防衛関連から資金逃避

3日、インソース（6200）が急反発、2日ぶりに年初来高値を更新した。4月30日を基準日として1株を2株へ株式分割を実施すると発表されたことが買い手掛かり。株主優待制度は株式分割による変更はなく、実質的な制度拡充となる。

アイエスビー急反発
3日、アイ・エスビー（9702）が

急反発。「Wi-SUN」の国際無線標準通信の規格「Wi-SUN Enhanced AN」に準拠した通信プロトコルスタックを開発したと発表した。宅内に設置された各種センサー、メーター、モニター機器からの情報をより確実に収集できるとしており、販売増と早期収益貢献を期待した買いが向かった。

で、マネックス主導で経営再建を進める。週内にも発表する見通しとしており、仮想通貨事業への本格参入による今後の収益貢献が期待された。報道に打って会社側は「買収を検討していないが、現時点で決定した事実ない」とコメントした。

急反発。「Wi-SUN」の国際無線標準通信の規格「Wi-SUN Enhanced AN」に準拠した通信プロトコルスタックを開発したと発表した。宅内に設置された各種センサー、メーター、モニター機器からの情報をより確実に収集できるとしており、販売増と早期収益貢献を期待した買いが向かった。

◎6ヵ月50%高前後目標の（門外不出）大伸流底値先回り買成功法試見

◎暴落底値買に暴落の心配なし・下記銘柄に天与の買場接近す（4月2日）

- 大日本住友薬** →新薬開発失敗時1500円前後買指示は3月28日の日経平均1000円安でも暴落せず上昇相場に変化なく当面2000~2200円目標不変なり
- 大太平洋金属** →3000円以下第一回買指示は当面の売目標3500~3700円は3700円で小天井となり再度下落の買信号となる。4000~4200円目標不変
- SUBARU** →1月5日の高値5016円より暴落時3500円以下断固買は3月26日の暴落時でも3400円を保ち底値波乱で推移している当面4500円前後へ

◎株は損が少なく利益の大きい底値買に勝る投資法なし（下値は有限、迷える投資家発想の転換を）

論より証拠・上記の如く底値大幅高予想のお試し銘柄をお知らせします。（自信あり）（返信切手1000円要）

田舎の名医が目標なり（会員のみ知る）（実績40年）金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員
大伸経済研究社 会費1ヶ年50万円、2ヶ年80万円(継続同額)(税込) (会費は高いが的中率に自信あり)(広告参照) 将来の運用成果を約束するものではありませんが (銘柄相談自由)(入会勧誘いたしません)
 電話058-243-5690(午前8:30~11:00) 〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2 [インターネットでの資料請求はここをクリック!](#)
 公表銘柄は一例であり全てではありません 目標値は当社独自の分析による予想値です
 有価証券の運用には、価格変動リスク、株式発行者の信用リスク、流動性リスクがあります。運用の結果、元本を割り込み、損失を被ることがあります。リスクに関して詳しくは契約締結前の書面をご覧ください。

昭和電工は一時S安

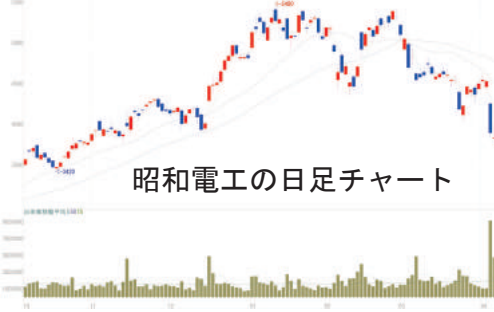
黒鉛電極需給悪化で格下げ

4日、昭和電工(4004)が急反落、一時ストップ安まで売られ、7日ぶりに年初来安値を更新した。国内大手証券が黒鉛電極の需給悪化を理由にレーティン

APAMAN急伸し新値

4日、APAMAN(8889)が急伸、年初来高値を更新した。海外ロードショ

グと目標株価引き下げた模様。3月の調査で中国の黒鉛電極生産量想定より早く増加すると判断、世界的に需給が緩む見込みで、同社株のほか東海カーボン(5301)や日本カーボン(5302)、S



昭和電工の日足チャート

4日、キユーピー(2809)が大幅に4日続落、年初来安値を更新した。18年11月期第1四半期の連結決算を発表、売上高1372億1200万円(前年同期比3.9%増)、営業利益57億2500万円(同2.7%増)、純利益32億4

キユーピー低進捗を悲観

700万円(同20.5%増)と増収増益を達成したが、進捗率の低さから悲観売りを浴びた。中食市場向けのカット野菜や惣菜が好調に推移、付加価値品の伸張や不採算商品の見直しなども進んでいる。通期は売上高5800億円(前期比3.3%増)、営業利益330億円(同5.6%増)、純利益186億円(同2.8%増)と従来予想を据え置いている。

公開価格の2.4倍

ブティックスの初値 4日、前日に東証マザーズ市場に新規上場したブティックス(9272)は公開価格1350円の2.4倍となる32

C&R最高益観測報道

4日、クリーク・アンド・リバー社(4763)が続伸。日本経済新聞が「2019年2月期の連結

営業利益が20億円程度と前期推定比1割程度増えそうだと報じたことが好感さ去最高を更新する。人手不足に悩む制作会社からテレビ番組やゲーム制作請負の受注が伸び、ウェブサービス制作代行では官公庁向け案件が増えるとしており、一段の利益成長を期待した買いが向かった。



皇居二重橋

マーケットの話題

政府は3日の閣議で、天皇陛下の退位と皇太子さまの即位について、関連式典の基本方針を閣議決定した。

「即位礼」関連銘柄は？

「即位の儀」は2019年4月30日に、皇居二重橋に「即位の儀」の中心となる式となる「即位礼正式決定の儀」は同年10月22日に国事「即位の儀」の中核となる式となる「即位礼正式決定の儀」は同年10月22日に国事

関連式典の基本方針を閣議決定

「即位の儀」は2019年4月30日に、皇居二重橋に「即位の儀」の中心となる式となる「即位礼正式決定の儀」は同年10月22日に国事

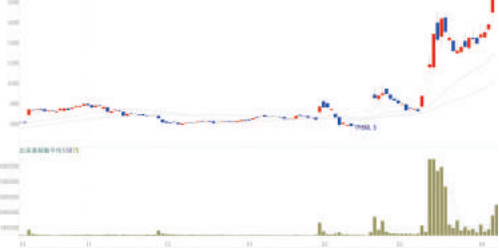
ヴィンクスS高で新値

中国スーパー2万店にPOS提供

5日、ヴィンクス(3784)がストップ高、3週間ぶりに年初来高値を更新した。18年内にも中国テンセントなどIT大手が出資する現地スーパーに店舗ノウハウや販売時点情報管理(POS)システムの提供を始めると伝わった。採用規模は2万店と大きく、セルフレジ関連

として再人気化した。

ヴィンクスの日足チャート



ペッパー牛肉安へ思惑

株として見直され、米中貿易摩擦の余波で、輸入牛肉の価格に低下圧力がか

5日、ペッパーフードサービス(3053)が大幅高で新値追いつ。ペッパーランチや「いきなり!ステーキ」など低価格のステーキ店の好調も18年12月期も76%営業増益を見込み、内需関連の成長

かるとの思惑も買い気を誘った。

PCIHD共同開発

5日、PCIホールディングス(3918)が急伸。Blue Planet、orksと共同で、「Server Guard for Windows」の開発を開始すると発表した。エンドポイント・プロテクション「AppGuard」モジュールを活用・応用したWindowsサーバー向けセキュリティ・システムで、超軽量エンジンによる高速処理でサイバ性能に悪影響を及ぼさず、攻撃を遮断・阻止するという。

公開価格の4.6倍

5日、前日に東証マザーズ市場に新規上場したビーブラッツ(4381)が公開価格2200円の4.6倍となる1万円で初値が生まれた。同社は継続課金の販売・管理プラットフォームの提供を行う。

OKがストップ高

5日、オウケイウエイヴ(3808)がストップ高。同社は4日の取引終了後、18年6月期の連結業績予想の修正を発表、売上高を28億円から36億円(前期比49.3%増)へ、営業利益を3億円から10億

マクロミル需給懸念

5日、マクロミル(3978)が急落。4日の取引終了後、筆頭株主の「Ballin Capital Holdings Limited」が保有株の全てを売却すると発表したことを受け、需給悪化を懸念した売りがでてい

底入れ反転へ

転ばぬ先のテクニカル

4月相場がスタートした先週の東京株式市場は続伸しました。米中の水掛け論は相変わらずですが、3月期末を通過したことで需給が改善してきました。4月5日に発表された投資部門別売買動向ではわずか48億円ではありますが、外国人投資家が12週ぶりに買い越しに転じ(前週4541億円の売り越し)しました。また、前週のIMM通貨先物市場のポジションも年初の円売りポジションが春先の円高で投げ売られたようで、半減し需給が改善してきました。

先週は日経平均、ドル円ともに3月26日を底に日足二段上げとなったことで底入れ機運が高まってきました。ドル円は昨年11月の114.73円から10円高となりましたので、まずは半値戻しの109円台へ、日経平均は1月高値の2万4129円から3478円下げましたので、その半値戻しの2万2250円近辺を目指すことになりま

日々勇太郎



マネックスはS高

週末6日、マネックスグループ(8698)が急反発、ストップ高まで買われた。コインチェックの全株式会社化することが正式に発表された。

「仮想通貨交換業は「第二の創業」で大きな役割を担う事業である」と、仮想通貨取引所の先駆者でもあるコインチェックの完全子会社化を決めたとしている。前日は買収に向けた

不透明な状況が警戒され、売りが優勢になったが、この日は金融庁がコインチェックの業者登録を容認することなども伝わり、仮想通貨事業への本格参入に伴う今後の事業拡大を期待した買いを集めた。

「仮想通貨交換業は「第二の創業」で大きな役割を担う事業である」と、仮想通貨取引所の先駆者でもあるコインチェックの完全子会社化を決めたとしている。前日は買収に向けた

円(同6倍)へ、純利益を1億7000万円から9億円(同7.3倍)へ上方修正した。子会社のOKfinco LTD.において、ブロックチェーンの開発案件を受注したことが寄与している。

来月以降戻り強める

当面は下値切り上げのジリ高想定

光世証券
エグゼクティブ・マネージャー
西川 雅博 氏

2月以降、内外でネガティブ材料が相次いだ。最近では米中貿易戦争動向に市場の関心が集まっているが、日経平均は逆に3月26日の安値2万347円から下値を切り上げる動きを見せている。明確な外部要因好転の動きがないなかで落ち着きを取り戻しつつあるのは、今回の株価下落がテクニカルな循環的調整の色彩が強かったということではないか。円安気味に反転基調で、海外投資家の売り越しにも一巡感が出てきており、依然流動性が強いとは言え、不安定な米国株に比べ日本株は底堅い動きだ。2カ月に及ぶ調整は日柄の進展で変化の兆しが現れ、足元では春の芽吹きが感じられる。

3月の日銀短観では大企業・製造業の業況判断DIが24ポイントと前回より2ポイント低下し8四半期ぶりの悪化となった。今期の経常利益見通しも大企業・全産業で2・2%減益と慎重な見方に転じている。年初からの円高や米国株式をはじめ世界的なリスクオフの動きが影響したようだ。一方、設備投資計画は大企業で2・3%増と予想(1・0%増)を上回っており、プラス要因である。景気・業績の減速懸念は否めないが、日経平均2万1000円附近はすでに今期1割程度の減益を織り込む水準だ。短期的には米中の通商交渉などに神経質な動きかもしれないが、下値は限定的で夏場に向け徐々に明るさを取り戻すと見る。今月の日経平均は2万2000円台後半へ下値を切り上げるジリ高を想定。3月決算発表後の来月以降は個別物色でさらに戻り相場の様相を強めると考える。好業績の持続期待でアサヒGHD(2502)、ソニー(6758)、三菱自(7211)に注目。

相場展望



6日、レノバ(9519)がストップ高まで買われ、最高値を更新した。18年5月期第3四半期累計の連結決算は売上高87億2700万円(前年同期比28・8%増)、営業利益29億9600万円(同18・8%増)と大幅な増収増益となり、併せて4月30日を基準日に1対2株式分割を実施する発表し

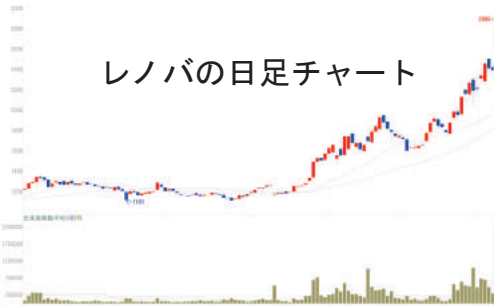
レノバS高で最高値

3Q大幅増収増益着地し分割も

たことが好感された。3Qは連結子会社化したユニイテッドリニューアブルエナジーなどが寄与した。

トーセは下方修正
6日、トーセ(4728)がストップ

安まで売られ、年初来安値を更新した。18年8月期の連結業績予想の修正を発表、売上高を56億5400万円から46億2500万円(前期比1・7%減)へ、営業利益を5億1000万円から1億6400万円(同46・7%減)へ下方修正した。



レノバの日足チャート

7&i2ケタ増収見込む

6日、セブ&アイ・ホールディングス(3382)が3日続伸。同19年2月期の連結業績予想を発表、営業収益は6兆6830億円(前期比10・7%増)、営業利益は4150億円(同6・0%増)、純利益は2100億円(同15・9%増)と2ケタ増収を見込んだ。米国のコンビニ

「スノコ」の一部店舗を買収するなど米国でのコンビニ事業などが寄与する。

ダイセキ見直し買い

6日、ダイセキ環境ソリューション(1712)が続騰。18年2月期の連結決算は経常利益13億6800万円(前の期比10・7%減)と2ケタ減益で着地したが、19年2月期は14億7000万円(前期比7・5%増)と回復を予想したことで、見直し買いが入った。

年始からの動意銘柄

潮流

ドル安誘導をけん制

クドローNEC委員長の発言力

marKet/bAnk

米トランプ政権の経済政策の司令塔である国家経済会議（NEC）委員長に、保守系評論家

で経済成長をめざす「レーガノミクス」の一端を担った。全米で最も著名な経済評論家の一人だ。トランプ大統領がクドロー氏を入ったのは「インフレなき経済成長」論だ。クドロー氏は

「好景気は物価を上昇させるよりも、むしろ下落させる」と主張した。同氏が主張するのは企業減税で投資が増え、生産性が上がって米経済の供給力が増すという「サプライサイド理論」だ。供給力が増えれば需要の過熱が解消され、インフレなき成長に道が開ける。トランプ氏は経済成長率を3%台に高めるには生産性の抜本的な向上が欠かせないという。日本も同様で人口減少の中でも生産性を高めれば、景気は拡大して株価は大幅上昇となる。また、クドロー氏は「偉大な国には強い通貨が必要だ。トランプ大統領が強く、安定したドルを好まないと思っているとは、信じることができない」と述べ、強いドル政策が好ましいとの見解を表明し、安易なドル安誘導をけん制した。円安は日本経済と株式市場には一番の好材料だ。

は「好景気は物価を上昇させるよりも、むしろ下落させる」と主張した。同氏が主張するのは企業減税で投資が増え、生産性が上がって米経済の供給力が増すという「サプライサイド理論」だ。供給力が増えれば需要の過熱が解消され、インフレなき成長に道が開ける。トランプ氏は経済成長率を3%台に高めるには生産性の抜本的な向上が欠かせないという。日本も同様で人口減少の中でも生産性を高めれば、景気は拡大して株価は大幅上昇となる。また、クドロー氏は「偉大な国には強い通貨が必要だ。トランプ大統領が強く、安定したドルを好まないと思っているとは、信じることができない」と述べ、強いドル政策が好ましいとの見解を表明し、安易なドル安誘導をけん制した。円安は日本経済と株式市場には一番の好材料だ。

潮流銘柄はエルテス（3967）、キーウェアソリューションズ（3799）、一家ダイニングプロジェクト（9266）。



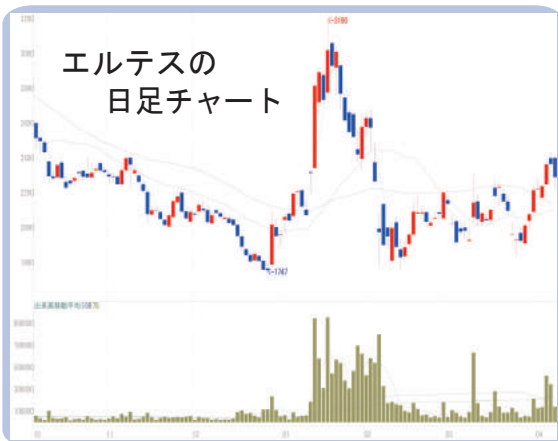
岡山 憲史氏 株式会社マーケットバンク 代表取締役のプロフィール

のラリー・クドロー氏が就いた。

同氏は1980年代のレーガン政権時にホワイトハウス入りした経験がある。トランプ氏とも旧知で大型減税を振りつけたブレインの一人だ。法人税率引き下げで「インフレなき成長」を目指すサプライ（供給）サイド経済論の信者でもある。そのクドローNEC委員長がトランプ政権に与える影響力がどれほどなのかを知る上で重要な出来事があった。

米国が中国の知的財産侵害への制裁関税を発表したのに対抗し、中国も米国の航空機や穀物などを対象に報復関税を決めた。保護主義的な通商政策が広がることを嫌気して、4月4日の米株式市場はダウ平均が朝方に510ドル急落したが、クドローNEC委員長が「米中貿易戦争は絶対に起こらない」との発言が伝わると急回復し、ダウ平均は2万4308ドルと274ドル高まで急上昇した。安値から実に800ドル近く戻したことになる。この動きを見る限り米国市場においてクドローNEC委員長の発言力は相当強いと考えられる。

同氏はニューヨーク連銀のエコノミストなどを務め、レーガン政権では米行政管理予算局（OMB）幹部として減税と規制緩和



「インフレなき経済成長」論

チャートから読む 騰落銘柄

ハウス食品G (2810)



3月26日の3350円を底に25日移動平均線を突破、50日線を抜ければ3月9日にザラ場で付けた3750円、その先は1月31日の年初来高値3935円を目指す。貸借倍率0.63倍で需給も良好。

ビジョナリーHD (9263)



日足陰転回避のあと5日移動平均を下値支持ラインに急上昇。上値抵抗帯となっていた74~76円を明確に上抜き本格反騰へ。17年11月の上場月に付けた86円奪回から3ケタを目指す。

グリー (3632)



長らく下落基調が続いており、2017年2月以来の600円台割れ。次の下値メドは2016年10月の540円台で、その先は同年8月8日の462円が視野に入る。592万株超の買い残も重石。

東海カーボン (5301)



3月26日安値1454円を底に切り返し、戻りを試していたが、黒鉛電極需給悪化懸念で急落。日足、週足、月足ともに長い陰線を引く。26週移動平均を割り込み、再び下値模索の展開へ。

今週の

活躍期待銘柄



フマキラー (4998)

新製品本格的拡販を期待

日本で初めての見直し。虫と虫よけ効果が1カ月続く除草剤「虫よけ除草王」が好調で、隙間にワンプッシュするだけで効き目が1カ月持続する「ゴキブリワンプッシュ」などの新製品が今後本格的に拡大していきそう

フマキラー(4998)の株価は2月21日の2514円を高くして3月29日には1930円まで調整していたが、売り巡りともに出直りつつある動き。気温の急激な上昇とともに夏に向けて殺虫剤の需要が拡大してくることから、シーズンストックとして見直してみたい。

集計中の18年3月期はブランド力強化や販売促進のための広告宣伝費や販売推進費、人件費や運送費の増加などが圧迫するも通期連結営業利益で24億6000万円(前期比8・0%増)と増益を確保する見通し。

シーズンストックとして狙う



シグマクス (6088)

デジタル技術導入し高成長

ラコーポレーションとの協業による地方創生型マーケティングプラットフォーム事業の収益貢献もこれから、来期も一段の収益拡大が有望。信用倍率1倍台の好需給も株価を押し上げていく。

シグマクス(6088)は年始から一貫して下値を切り上げ新値追いついていよいよ上場翌月の14年1月に付けた最高値1万430円(株式分割を考慮すると2608円)奪回へ上昇に弾みがつく局面だ。

戦略立案・策定からビジネスモデルとシステム設計・構築・導入までをワン・ストップで提供する三菱商事系コンサルティングファームで、AIなど先端技術を活用したデジタルサービスや新規事業開発が進み、集計中の18年3月期は連結営業利益10億5000万円(前期比38・3%増)と大幅増益で計画上限での着地が確実視されている。

好需給テコに最高値奪回へ

※チャートは日足

2万2000円突破へ

高野恭壽の株式情報 **これでどや!!**

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



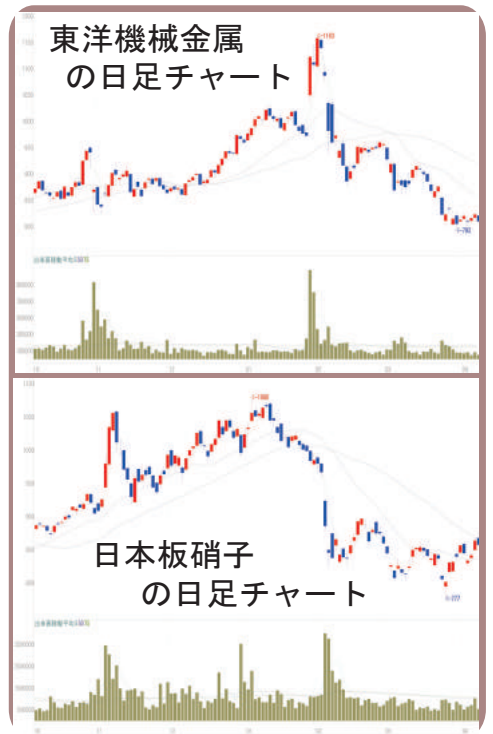
高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

4日に上げ幅を急速に縮小して引けたのは米国株式の先物指数が下落したためでした。その影響で米国株式の反落が懸念されましたが、4日のニューヨーク市場では実際に小反落後に大幅な反騰をみせて230ドル高で終えました。それをみて5日の日経平均は寄りつきから2万1500円を上回って寄り付き、そのまま上値を追い、2万1700円台をクリアし、一時は400円高を超えるところまで買われました。円安もあってキャノンなどの精密が値上がり率トップの業種となりました。内

需系の三井不、住友などの不動産、これまで堅調な動きを続けていた大日薬、小野薬など医薬品が一斉高となり、サントリー食品などの食品系も買われました。電機なども一部買われましたが、上値の重さから伸び悩みとなりました。また、日経平均が大幅高する中で非鉄、鉄鋼、海運などは軒並み続落となるなど、貿易競争の影響が引き続きでています。これで日経平均は目先の2万1500円台の関門を突破し、2万2000円台回復が見え始めました。

東洋機械金属などを狙う

当欄の一貫推奨の**大紀アルミニウム工業所(5702)**は不幸にも非鉄系の一斉安の影響をモロに受けて低迷して終えました。**古河電気工業(5801)**も下っ放れてしまいましたので、もう少し様子を見ています。**新田ゼラチン(4977)**は戻り高値を更新して伸び悩みました。値を維持して終えました。水準を上げながら上値を追うリ



イズムは変わりはありませんので引き続き持続です。
アイフル(8515)、**JVCケンウッド(6632)**も一服気味でしたが、値を保っており引き続き注目です。**協和発酵キリン(4151)**は目標値にほぼ近づきましたので売却も一策です。**J.フロント リテイリング(3086)**も一段高となっていました。
 本日の狙いは**セコム(9735)**、**東洋機械金属(6210)**、**岩谷産業(8088)**です。穴株として**日本板硝子(5202)**、**野村ホールディングス(860)**も4)もマークです。

高野恭壽公式ホームページ
 高野恭壽の株式情報(これでどや!!)
<http://www.kabun-takano.com/>
 毎日情報を配信中!

星野三太郎の株街往来

～技術への過信～

米配

車サービスマスターのウーバー・テクノロジーズが試験走行中に歩行者をはね、死亡させるなど自動運転車の事故やトラブルが相次いだ。

ナビゲーションシステムや自動ブレーキなど自動車のハイテク化が急速に進化したおかげで、ひと昔前に比べ運転が格段に楽になった。筆者も昨

年、買い物中に運転していたら横断歩道での歩行者の飛び出しに自動ブレーキが機能して事故を回避できた経験があるので、技術の進化の有難さを身に染みて感じた。この先、AI（人工知能）の進化などで10年タイムで見れば、人間が運転しなくなる時代が来るかも知れない。運転をしなくて良いなら免許も不要になる発想になるが、様々なことが自動化されるなかで、人間自身の危機意識が薄れていく不安を感じる。

3月末は自動運転の実用化の遅れも懸念され、ハイテク売りに繋がった。死亡事故は絶対起きてはならないことだが、今回のハイテク売りを通じて、人間が技術を過信してはいけないという教訓になったと思う。自動車やコンピュータを使うのは人間だから、その人間が常に危機意識を持って行動しなくてはならない。



New product

六甲バター 季節限定品など新発売

「Q・B・Bチーズデザート6P」シリーズ



「Q・B・Bチーズデザート6P」季節限定品

六甲バター（2266）は「Q・B・Bチーズデザート6P」シリーズに季節限定で「贅沢マンゴー」を新発売した。また、姉妹品で毎年好評を得ている、「瀬戸内レモン」をリニューアルし再発売、同じく定番の3品もパッケージを一新しリニューアルした。

加えて、「Q・B・B大きいスライスチーズ」シリーズに「料理を彩る大きいスライスチーズ7枚入」を、「Q・B・B ナッツ」シリーズとして「ロカボ アーモンド」「ロカボ ミックスナッツ」も同時に新発売している。「ロカボ」とは、おいしく食べて、緩やかな糖質制限を推奨する、一般財団法人 食・楽・健康協会が提唱している食スタイル。

初の社員講師による授業

カプコン

事業所内保育所「カプコン塾」



スプリングスクール

企業レター

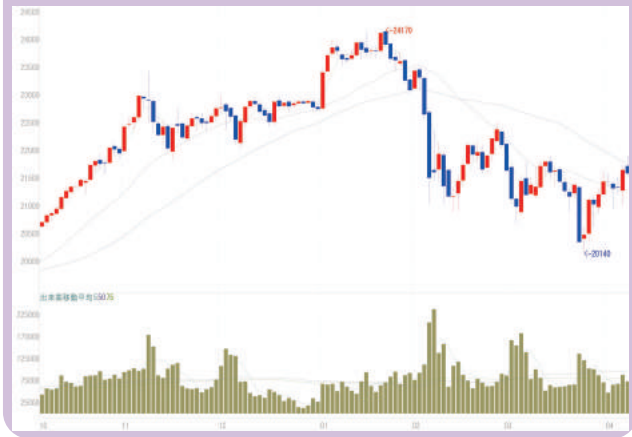
カプコン（9697）は、事業所内保育所「カプコン塾」の

スプリングスクールでは、初めて社員講師によるゲーム音楽の授業を小学12名対象に実施した。保育所不足に伴

う待機児童問題の早期改善が望まれるなか、同社は将来を見据えて、社員が安心して子育てをしながら長く働くことができる環境を提供したいという経営トップの考えのもと、通常の保育に加え、自ら学び自ら成長できる子どもの育成を目的とした、「カプコン塾」を2017年4月に開所している。

3月28日に実施したスプリングスクールでは、ゲームの効果音を作成する専用スタジオ「オーディオリーステージ」において、子どもたちにゲームの作り方やゲーム音楽の役割を講義するなどの、ゲーム会社の特性を活かした授業を行っている。

日経225先物日足チャート



今週はSQ週である。3月のSQ値は2万1575円45銭。この2万1500円処は意識される水準であると思われる。ポリンジャーバンド自体は収斂してきており、 $\Delta 2\sigma$ は2万2017円、 $\nabla 2\sigma$ は2万1765円。13週移動平均線が2万2100円処であり、今週の上値メドは2万2000円。

週だけに水曜日に水曜日は木曜日も大きく動かない可能性がある。今週の予想レンジは2万1000円から2万2100円。「二日新甫」のSQ

今週のスケジュール

- ・ 6日 米3月雇用統計(21:30)
- ・ 9日 2月国際収支(8:50)
3月消費者動向調査(8:50)
3月景気ウォッチャー調査
- ・ 11日 2月機械受注、3月国内企業物価指数(8:50)
北朝鮮最高人民会議第13期第6回会議
中国3月消費者物価、中国3月生産者物価(10:30)
米3月消費者物価(21:30)
3月20・21日開催のFOMC議事録
- ・ 12日 3月マネーストック(8:50)
3年都心オフィス空室率(11:30)
30年国際入札
日銀地域経済報告(さくらレポート)
- ・ 12日 中国3月貿易収支

敏腕先物ディーラー ハチロクの裏話

二日新甫のSQ週

水、木曜で大きく動く可能性

先週の日経平均は米中貿易摩擦の後退を好感し円安・株高のトレンドとなり、週ベースでは続伸となった。ただ、金曜日にはトランプ大統領が中国に対し1000億ドルの制裁関税の追加を検討すると発表し、伸び悩む場面もあった。

この上昇を牽引したのはやはり外国人投資家である。東証が5日に発表した3月第4週の投資家別株式売買動向を見ると外国人投資家は12週ぶりに買い越した。買い越し額は48億円だが、長らく続いた日本株売りがどうやら止まったようである。個人は2週ぶりに売り越し、外国人投資家の買いに対し食い売りを出したようである。

一方、下値は先週は切り上がりのかたちで上昇してきたが、5日に2万1415円85銭から2万1462円10銭の「窓」を開けて上昇してきた。調整した場合この「窓」は埋めると思われるが、この水準は25日移動平均線(2万1392円)と重なる。この水準で止まらないと1 σ (2万1080円)水準までの調整になる可能性もある。

今週の予想レンジは2万1000円から2万2100円。「二日新甫」のSQ

編集後記

銘柄チェックに割く時間が増えた。レギュラー企画が充実。ヘドイトレ候補を選ぶため、値動きと出来高、材料を確認しておよそ30銘柄を絞り込む。値幅が出やすいのは最終局面で、買いやなら高値圏にある銘柄がほとんどで逆にいくケースも多く、寄り付きの状況を見てから会員に紹介している。あつて、たいてい数銘柄は値上がり上位に顔を出す。もちろん、朝高のあと値を消す銘柄もあるが、格言通り、3割高を狙える銘柄は成功の確率が高かった。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被りたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。